

新 夏秋トマトの簡易雨除け栽培における裂果抑制技術の確立 (R2~4)

【成長戦略課題】

総合農業技術センター

背景とねらい

○本県高冷地では、夏期冷涼な気候を活かして夏秋トマトが栽培されてきた。

○主要品種
簡易雨除け栽培:「桃太郎」
ハウス栽培:「麗夏」



○近年の温暖化による異常気象により、放射状裂果が多発

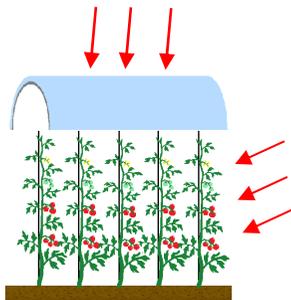


○放射状裂果の主な原因は強日射
○直射日光の当たりやすい簡易雨除け栽培では、特に激しく裂果
○ハウス栽培での裂果対策は報告されているが、簡易雨除け栽培での研究例はない。

◎そこで、簡易雨除け栽培における「桃太郎」の裂果抑制技術を確立する。

試験内容

○簡易雨除け栽培で裂果しやすい条件を調査



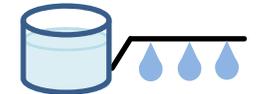
強日射および土壌水分等の果実への影響
・強光の当たる時間帯
・土壌水分の変化量 等

・強日射対策による裂果抑制
効果の高い日射対策を行い、省力的に裂果を抑制

・かん水方法による裂果抑制
果実の柔軟性を維持し、急激な水分変化時でも裂果を抑制



雨除けビニール資材



灌水方法

要因解析の結果から、効果的な対策を実施

期待される効果

- ・気象変動対策が図られ、夏期高温期および秋雨期の品質・収量が向上し、ブランド力UP!
 - ・既存農家の経営改善や、新規就農者のリスク回避、定着に繋がる。
- 産地の維持・拡大へ!

